

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和5年3月17日 第11号(19-64)

発行責任者：校長 関田 誠

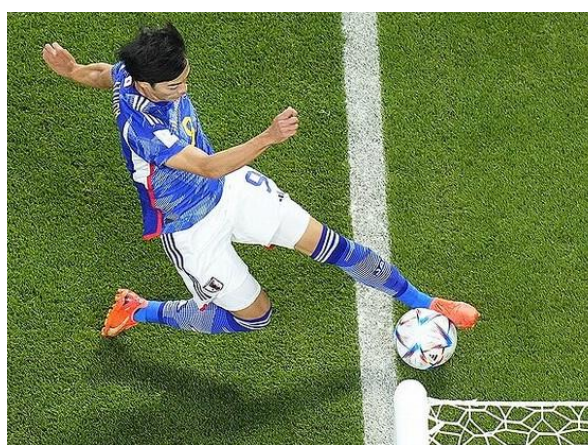
『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

3/17（金）卒業式校長式辞 『三笥の1ミリはなぜできた？』の話

～肝はがめつい成長への渴望～

（前略）校長としての私の授業は、折々の講話でした。未来を担う若者に伝えたいことがたくさんあります。私は機会あるごとに、大宮中精神『優しさをもって、若者らしい夢や目標に挑戦せよ』と話してきたつもりです。卒業式は最後の授業です。

授業のテーマは『三笥の一ミリはなぜできた？』。昨年はサッカーW杯で日本中が盛り上がりました。活躍が印象に残った選手に三笥薫選手がいます。スペイン戦でのエンドラインギリギリのアシストは、『三笥の一ミリ』と呼ばれています。あの一ミリがなぜ生まれたのか一緒に考えましょう。三笥薫選手は小学校からサッカーを始めて、すぐに夢中になります。地元のクラブチームからJリーグの下部組織に進み、高三の時にプロチームへの昇格の話が来ますが、あっさり断ります。（プロでやるには自信が足りない）という理由です。皆さん、プロ契約を普通断りますか？彼は自分を客観的に観察する力があったようです。自分が足りないと考えた部分を、進学して大学サッカーをやりながら克服します。大学では全体練習後に、現在はJリーグで活躍している、同級生のプロを目指す山川哲史選手と、一対一のドリブル練習をグラウンドを追い出されるまで毎日続けたそうです。走るスピードが足りないと考え、陸上部のコーチの門を叩き、走る、止まるを切り替える練習にも励みます。加えて食事や睡眠など、体づくりのために良いと言われる方法を聞けば、何でも試したそうです。当然、卒業論文もドリブルの研究でした。三笥選手を隣で観ていた山川哲史選手は、三笥選手のことを『とにかく成長にがめつい人間』と評しています。『成長にがめつい』とは、『自分磨きにはなりふり構わず、驚くほどの成長への貪欲さ、渴望、飢え』ということです。こうしたがめつい姿勢が、Jリーグから海外への飛躍、そしてカタールWカップでの『三笥の一ミリ』につながりました。最近のイングランドでのインタビューでは、気が付くと英語も自在に操っていますね。三笥選手の活躍を見て、どこまでも成長を止めようとしないう姿に、眩しさや凄みを感じます。



さあ、三笥の一ミリの生まれた秘密をまとめます。皆さんが気付いたとおり、三笥選手には今の自分の力を客観的に判断できる力がある。だから強み、ストロングポイントを伸ばし、弱点、ウィークポイントを克服できること。そのための効果的な方法を考えて挑戦すること。そして志を同じくする仲間と切磋琢磨すること。肝はこれらをはがめつく繰り返すこと。皆さんも、こうした毎日の一ミリの成長が、将来『ここぞという大事な場面のあと一ミリ』を引き出すことを信じて、ぜひ『成長にがめつい青春時代』を過ごしてください。（後略）

祝 大宮中75周年記念

1947年：大宮小学校内で開校式 入学式 始業式挙行

このころはまだ
木造建築でした



この時は大宮小の校舎
を借りていました。



初代 石崎泰忠先生
昭和22年5月～
昭和27年9月

1947年：大宮小学校内で開校式
入学式 始業式挙行

1950年：第一回卒業証書授与式

開校3年目、私たちが大宮中第1期生です。

1954年：図書館新築・渡り廊下新設

1960年：増築校舎落成式

まさか、こんな昔から！？

1962年：菅平スキー教室に参加



(第一回) 卒業生記念写真

1963年：ミルク給食開始

1965年：第1期鉄筋校舎&教室落成式

1967年：第2期鉄筋校舎改築

この頃は、まだ制服
はなく、いろいろな
服を着ています。



この頃はテニスコート
がありました。



1968年：卒業記念石碑「夢を持とう」設置

1977年：第3期鉄筋校舎落成

全校舎鉄筋に！



1980年：校舎A～B棟への屋根付き渡り廊下完成

1982年：B棟校舎前に防球網完成

1992年：体育館引き渡し式・落成式

2001年：第2回杉並区立中学校対抗駅伝大会初参加

第23回駅伝大会 男女ともに優勝おめでとうございます！

2002年：新制服決定



【生徒会新聞：大宮バンザイ第6号より転載】

現在の標準服が決定！！

3

11(土)

起業家教育 第2弾 (2年)

三学期は総合の時間に、キャリアデザイン講座の『第2弾 商品開発コンテスト』に取り組みました。この日は体育館で商品開発のプレゼンを実施しました。開始当初に、アキッショデシカ(ピザ)、ヒゴロ青果(焼き芋)、スーパースリー(T シャツ)の三店舗にご協力いただいて、それぞれの商品について解説をお願いしました。そこから、数人のチームを組んで、社長以下の役職を決めて、商品開発を進めました。商品のアイデアをまとめ、



コンテストのためのプレゼン用の資料やポスター制作をおこないました。発表当日は、18ブースでプレゼンを行い、参加者にロイロノート等で投票していただき、順位を決めていました。

3

14(火)

OEGG (1・2年) ~留学生と英会話体験をしよう~



東京大学大学院工学系の外国人留学生を12名招きました。神田外語大学の三宅泰子先生と留学生ホストファミリーコーディネーターの赤池あゆみ様のご尽力で実現しました。1、2年生とも学級ごとに、英語でグループワークや一対一の対話を行い、会話に挑戦していました。来年度の英語スピーキングテストに向けて、会話を磨く時間となりました。

3

3(金)

保体ダンス発表会 (2年+全校鑑賞)

三学期に保健体育の授業で取り組んできた



ダンスの発表会を5校時に行いました。12チームがダンスリーダーを中心にこの日の発表を目標に練習してきました。当日は体育館の空間にダンスと応援のエネルギーが充満しました。

3

10(金)

歌舞伎鑑賞教室(3年)

中央区の歌舞伎座で鑑賞教室を行いました。当日の演目は『花の御所始末』でした。シェイクスピアのリチャード3世から着想した創作劇です。幸四郎や愛之助の演技を生舞台で観ることができました。客席からは役者の登場に合わせて、大向こうから「〇〇屋～」の掛け声がかかり、舞台は何幕も入れ替わりながら進みます。

途中 35 分間の休憩時間があり、歌舞伎座特製の幕の内弁当をいただきました。舞



台では、主人公足利義教が将軍の座を手に入れるためにあらゆる計略を巡らし、父や兄を亡き者にしていきます。将軍の頂点を極めてからも主人公の独裁はエスカレートし、遂には怒りの民の一揆で倒されるという舞台に、三年生は圧倒されました。

二つ話します。一つ目は最近世間を騒がせた事件に、北陸の高校生によるスシローでの迷惑行為がありました。共用の湯飲みや醤油さしを舐めたり、流れる寿司に唾液のついた指で触った動画を友人に送り、それが拡散して大炎上。高校は退学、スシローには親子で謝罪したものの、警察に被害届が出されています。過去にもバイトテロという名の悪ふざけが過ぎた高校生や大学生の迷惑行為が起きています。一度アップしたネット情報はまず消せません。だから一生つきまとうし、まともに就職できない人生になるリスクも高いということです。別の事件を担当した弁護士が、当人に何でやったのか聞いてみると、友達同士の悪ふざけのノリで同級生に見せたくて投稿する。けれど公開した瞬間、アツという間に火がついてしまう。どういう法律上の責任を負うとか全然考えていない。大体は友達やフォロワーなどを笑わせたくてやっているということが分かるそうです。私は好きな回転寿司屋さんがあるのですが、先月の事件があってから足が向きません。客が減る損害を与えた賠償責任、食材を処分、機材を入れ替えたりする費用の損害が、チェーン店全体に及ぶと億単位になる試算もあるそうです。未成年の中高校生なら保護者がそれを背負うこととなります。ネット社会に生きる私たちは、ネットモラルを踏み外さないようにあらためて肝に銘じましょう。

二つ目は卒業式のマスクのことで。保健体育の授業や運動部活ではマスクは外して活動している場面が多いですね。現在大宮中ではコロナ、インフルがほとんどゼロが続いています。政府からは3/13(月)から、原則としてマスク着用を推奨せず、個人の判断に委ねるという方針が出ました。学校に関しては、今のところ今年度中に変更せず、4/1 新年度から「着用を求めないことを基本とする」になる方向です。

3/17(金)の卒業式の式典中は「生徒、教職員は卒業式全体を通してマスクを外すことを基本とする」「ただし歌唱、合唱を行う場合はマスクを着用する」「十分に換気をおこない触れ合わない距離を確保」という通知が来ています。加えて、「諸事情でマスクを外せない、逆に付けられない生徒の思いを尊重して強制はしない」とあります。卒業式は最後の授業です。皆さんはコロナの中で学校生活を送り、長いマスク生活が続いてきました。特に卒業生は、最後の場面で保護者の前で、あるいは一緒に卒業する仲間に対してマスクのない素の姿を見せあう最後の機会を作ろうという配慮だと思います。杉並区小中学校では、歌の場面は全員マスクを付けます。それ以外は、特に問題を感じなければ式場内では外して式に臨みます。私は歌の場面以外は外して臨もうと思います。しかしそれをまわりに強制はしません。全員揃える問題でもありません。あくまで個人の判断を尊重するということです。

4月からは、学校でもルール、マナーから外れていなければ、自分の頭で考えてマスクを付けたり外していくことになるはず。感染の不安は依然としてゼロではありませんが、三年間のならいで顔の一部として付け続けるのはマイナス面も大きいのです。『人間は習慣の奴隷』という言葉があります。良くも悪くも身についた習慣を変えるのは大変という意味です。卒業式はその第一歩です。😊

